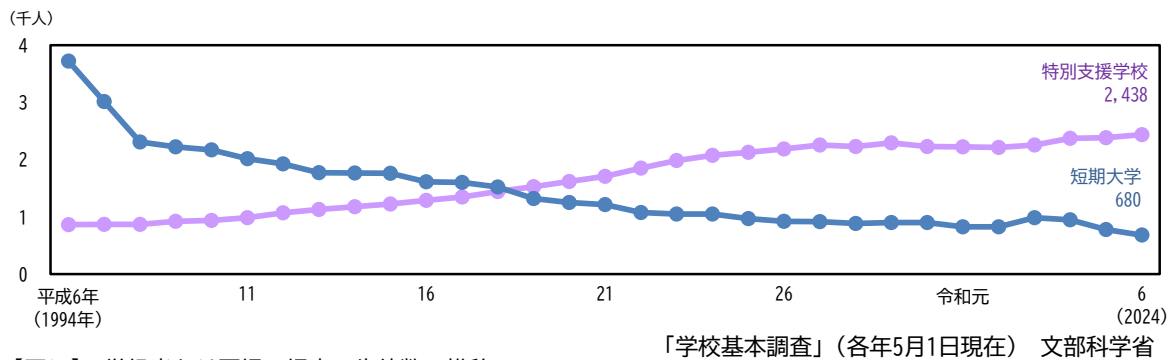
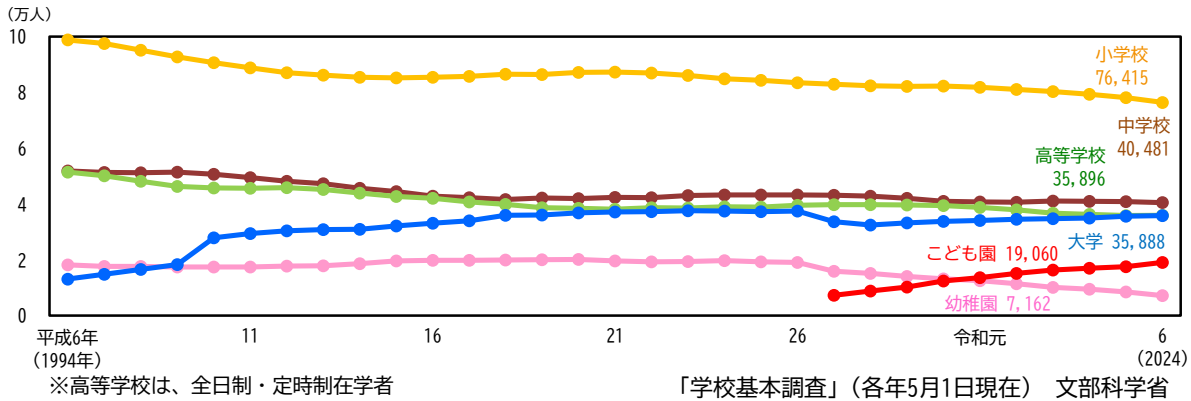


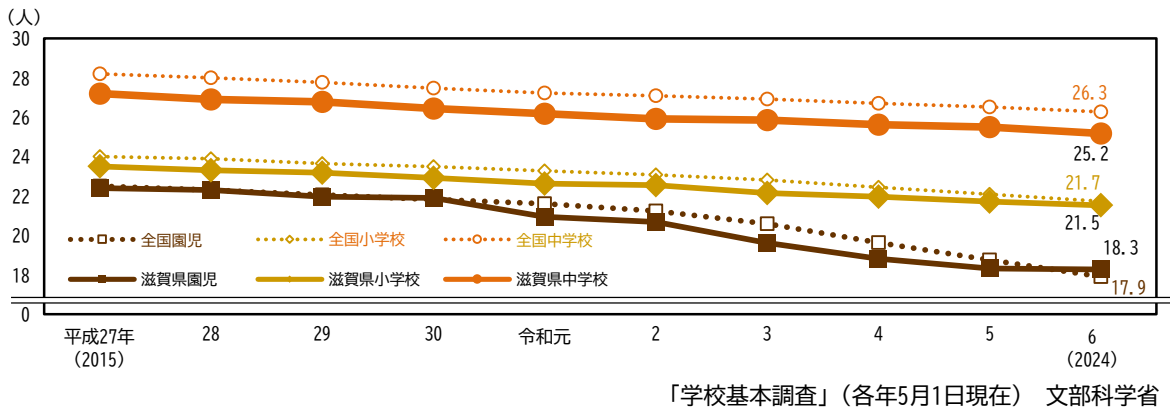
教育・文化・観光

■園児・児童・生徒・学生数の推移

【図94】在学者数の推移

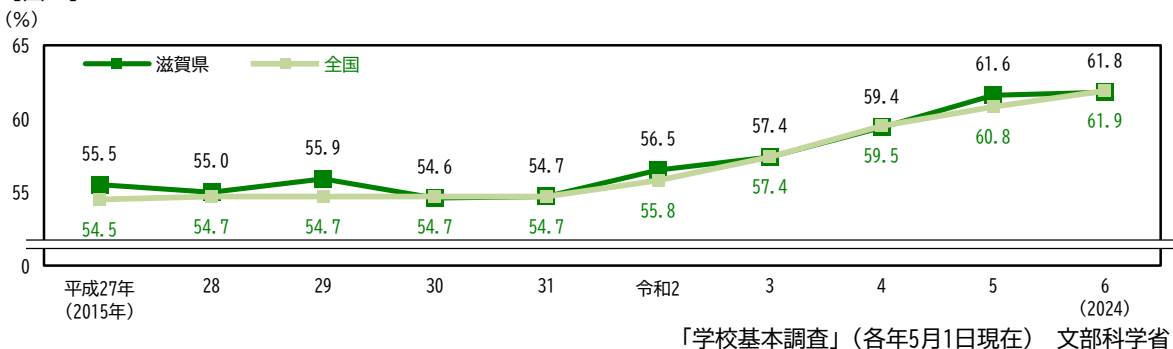


【図95】1学級当たり園児・児童・生徒数の推移



■高等学校(全日制・定時制)卒業者の大学等への進学率の推移

【図96】



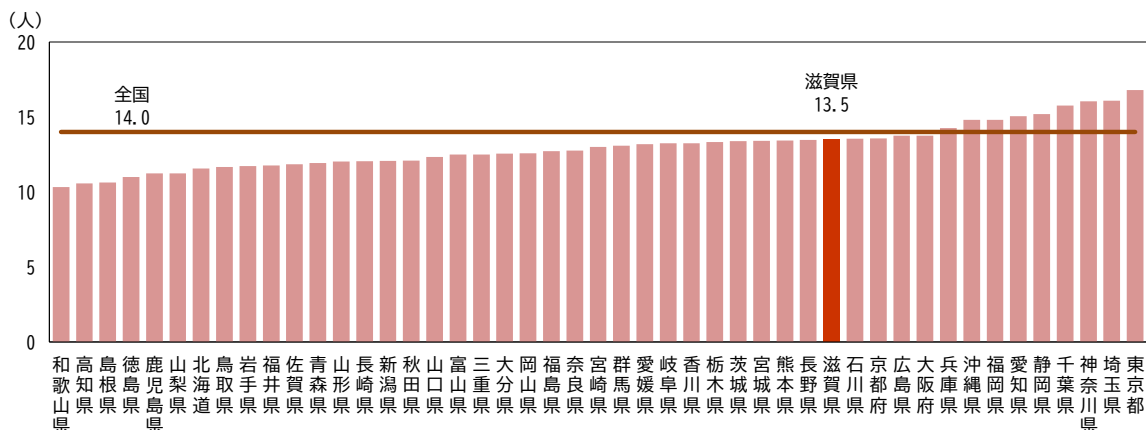
30年前と比べて、在学者数は小・中学校で約2割減少し、高等学校で約3割減少、大学で約3割増加した。【図94上】

また、特別支援学校の在学者数は約3倍になり、短期大学の在学者数は約8割減少した。【図94下】

令和6年3月の高等学校の卒業生11,326人のうち、大学等への進学者は6,996人で進学率は61.8%。
因みに、最も高かったのは東京都の74.2%、第2位は京都府の74.1%、第3位は神奈川県69.4%。【図96】

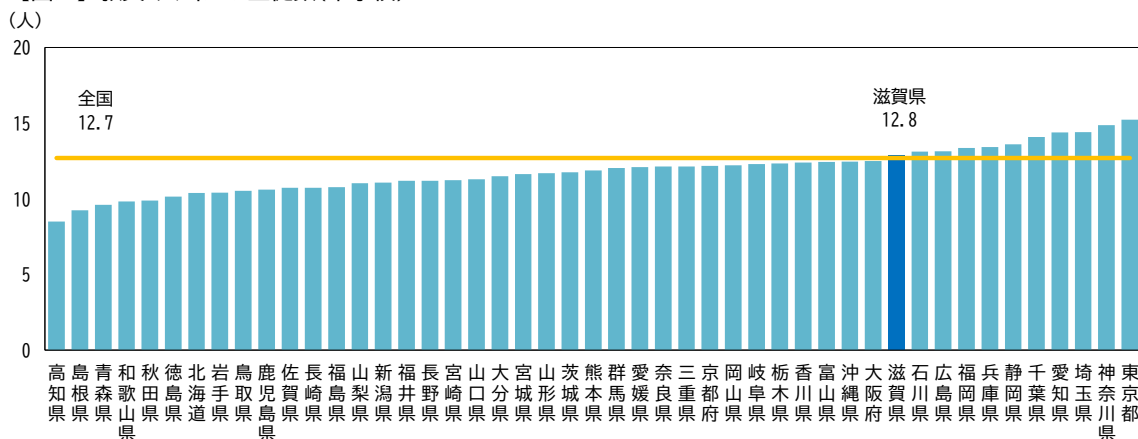
■小学校の児童数・中学校の生徒数

【図97】 教員1人当たり児童数(小学校)



「学校基本調査」 文部科学省（令和6年度）

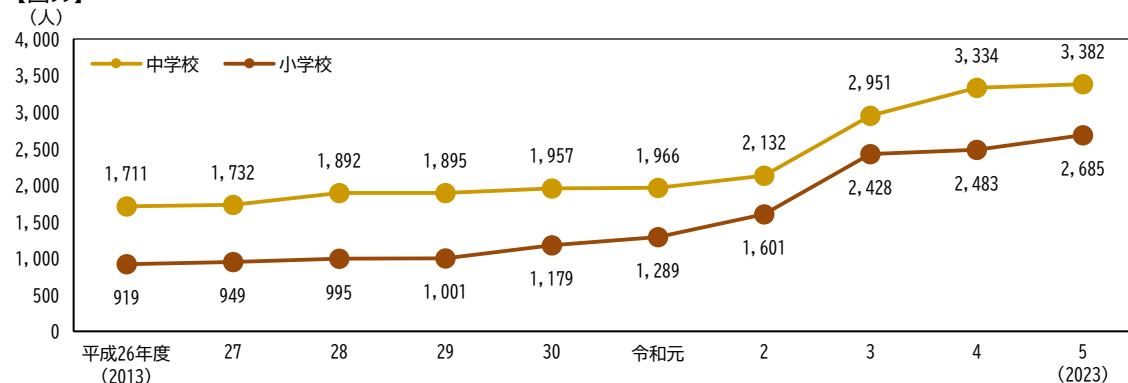
【図98】 教員1人当たり生徒数(中学校)



「学校基本調査」 文部科学省（令和6年度）

■長期欠席児童・生徒数*の推移

【図99】



*病気、経済的理由、不登校、その他の理由により、年度間に通算30日以上欠席した児童・生徒数
※前年度間の数値を表しています。

平成26～27年度 「学校基本調査」 文部科学省

平成28～令和5年度 「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」 文部科学省

くらしの数字

児童生徒一人当たりの学習者用PC台数

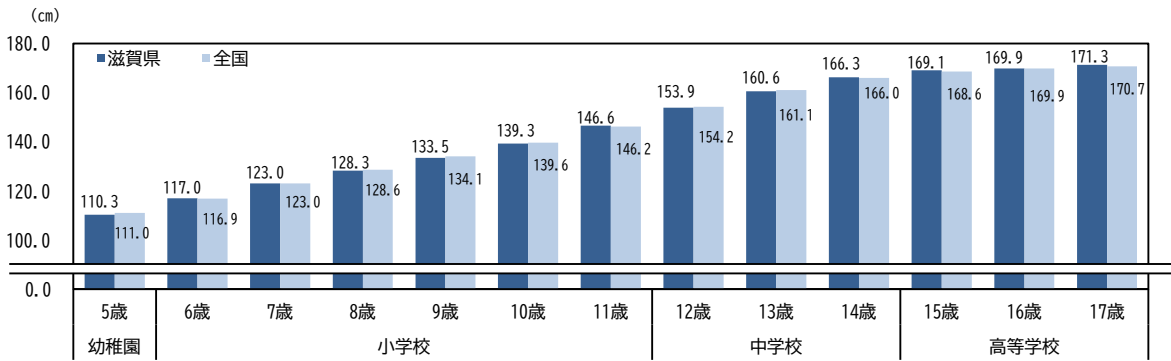
小学校 1.1台、中学校 1.1台、義務教育学校 1.1台、高等学校 0.9台、特別支援学校 0.9台

「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」 文部科学省（令和5年度）

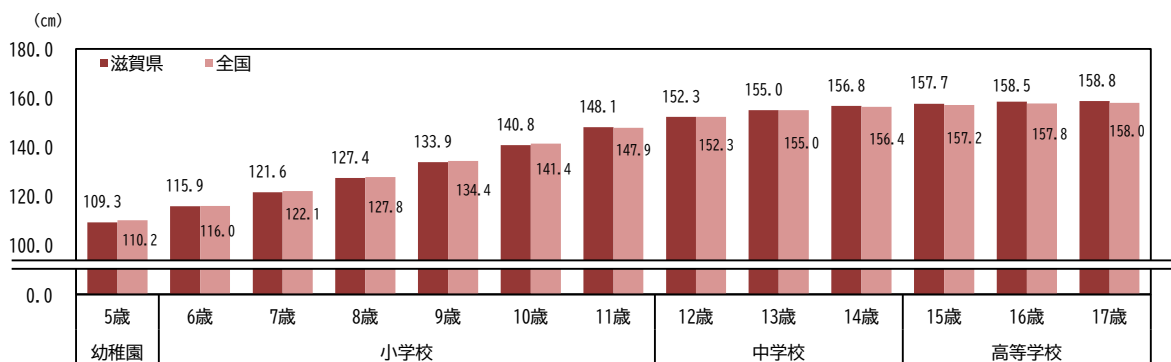
不登校児童生徒の割合は、令和5年度で小学校2.01%、中学校6.12%。
30年前の平成5年度調査結果と比較すると、それぞれ8.7倍、4.7倍となった。【図99】

■ 幼児・児童・生徒の体格

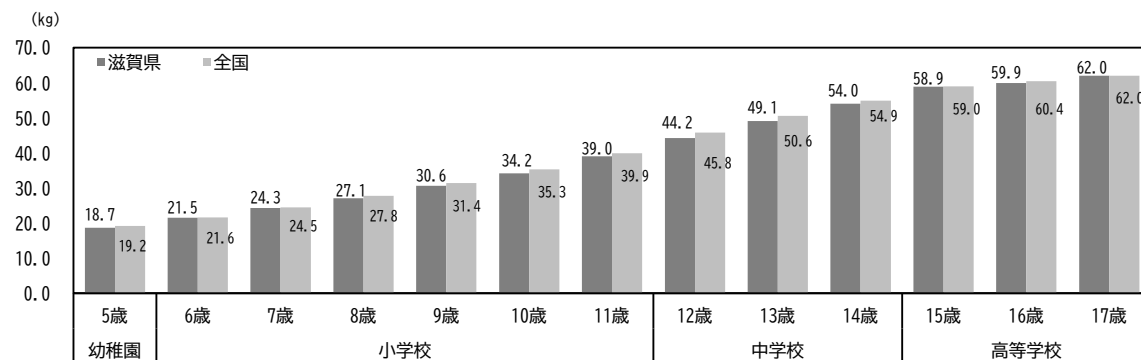
【図100】 滋賀県および全国の男子身長の平均値



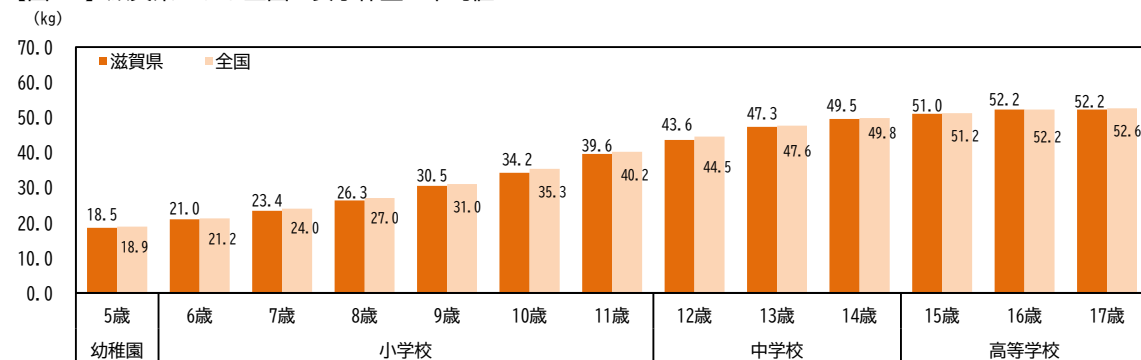
【図101】 滋賀県および全国的女子身長平均値



【図102】 滋賀県および全国の男子体重の平均値



【図103】 滋賀県および全国的女子体重の平均値



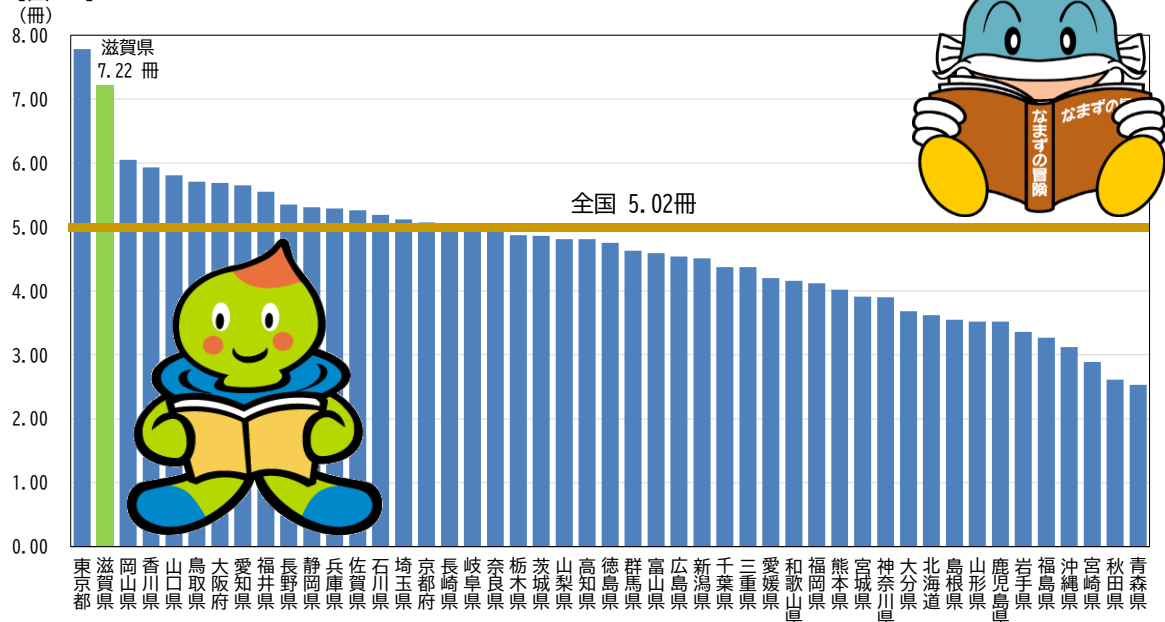
「学校保健統計調査」 文部科学省（令和5年度）

※ 学校保健統計調査の調査期間は例年4月1日から6月30日ですが、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響により調査期間が年度末まで延長されました。そのため、令和5年度の数値と過去の数値の単純比較はできません。

体重の平均値は、男女ともすべての年齢で全国値と同じ、もしくは低い数値となった。
この傾向は前年度と同じである。【図102】 【図103】

■公立図書館の1人当たり図書貸出冊数*

【図104】

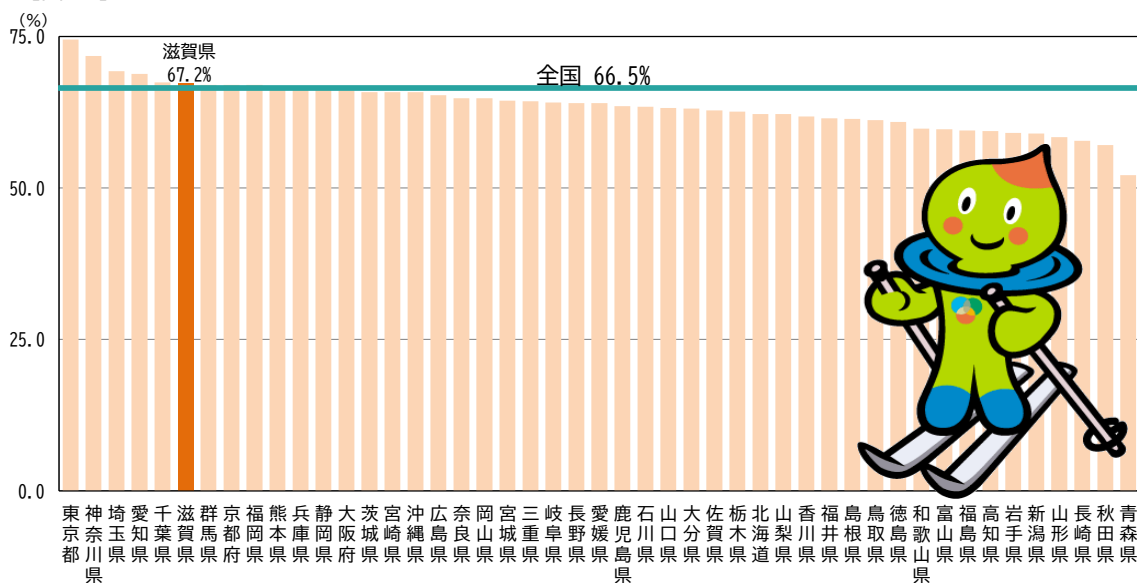


* 公立（都道府県立および市区町村立）図書館貸出冊数（団体貸出冊数除く）÷都道府県人口（令和4年1月1日現在）

「日本の図書館統計と名簿2023」（公社）日本図書館協会（令和4年度）

■スポーツ年間行動者率*

【図105】

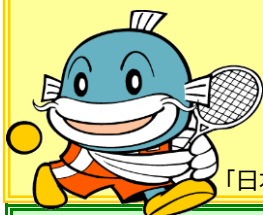


* 10歳以上人口に占める過去1年間（令和2年10月20日～令和3年10月19日）にスポーツを行った人の割合

※ 「スポーツ」には、職業スポーツ選手が仕事として行うものや、児童・生徒・学生が体育の授業で行うものは除き、クラブ活動や部活動は含む。

「令和3年社会生活基本調査」総務省統計局

くらしの数字



○公立図書館の専任職員の有資格者率 82.3%（全国1位）

○公立図書館の1人当たり蔵書冊数 7.18冊（全国3位）

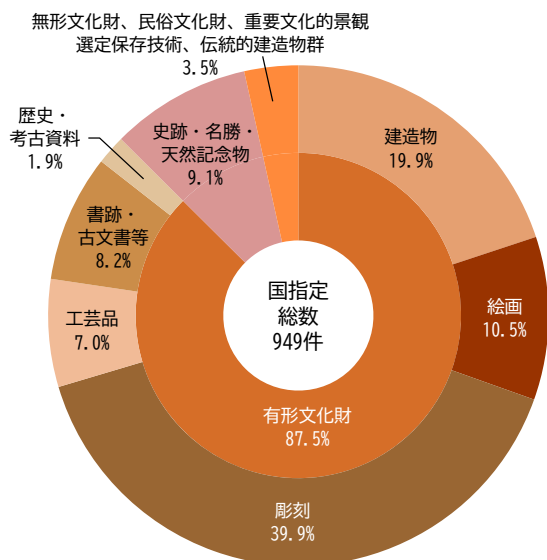
「日本の図書館統計と名簿2023」（公社）日本図書館協会（令和4年度）

令和4年度の公立図書館貸出冊数は1人当たり7.22冊で全国2位。【図104】

令和3年のスポーツ年間行動者率は67.2%で全国6位。テニスに限ると4.5%で全国2位。【図105】

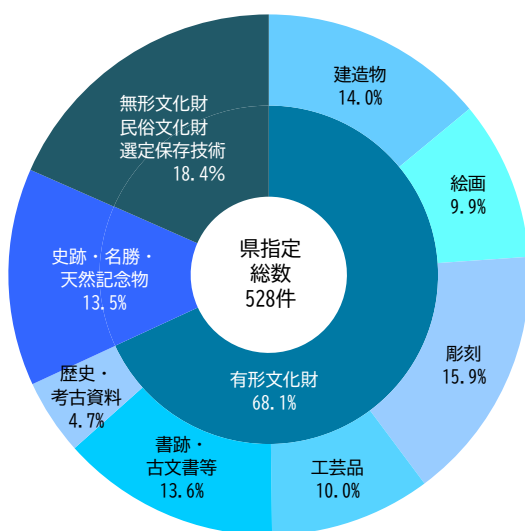
■文化財

【図106】国指定(選択含む)文化財の構成比



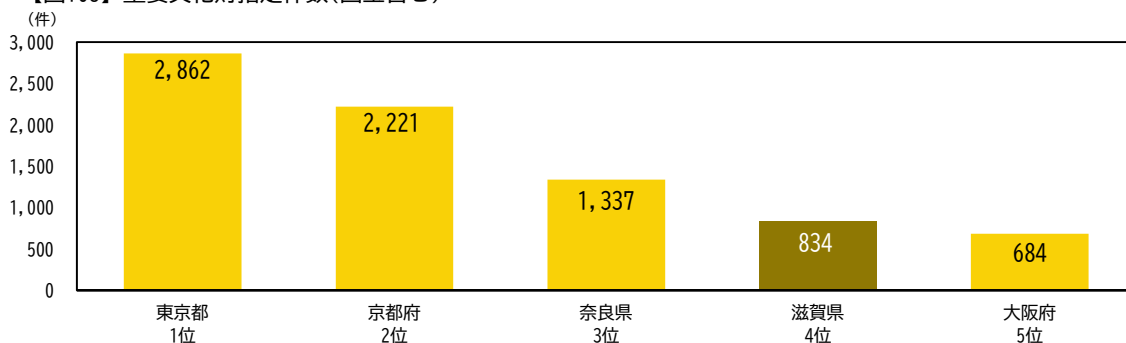
県文化財保護課(令和6年3月31日現在)

【図107】県指定(選択含む)文化財の構成比



県文化財保護課(令和6年3月31日現在)

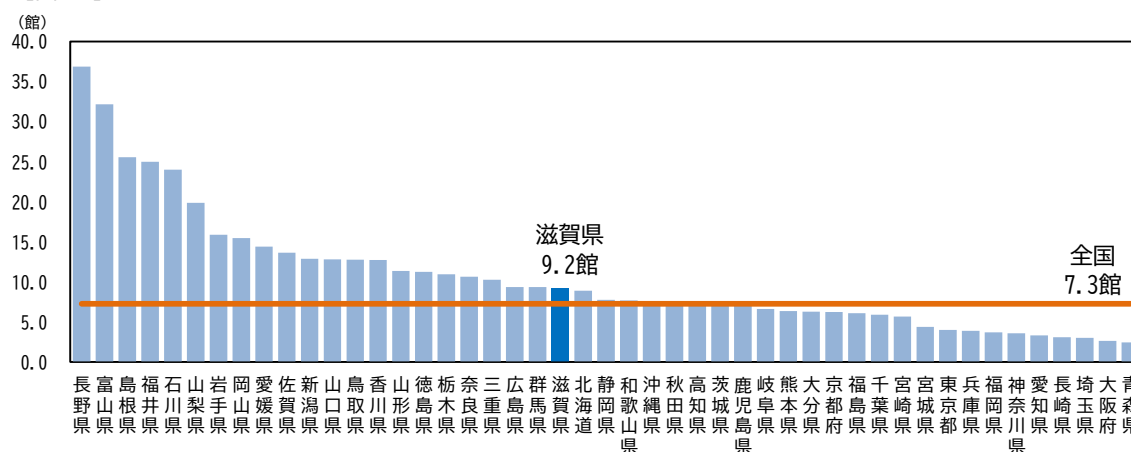
【図108】重要文化財指定件数(国宝含む)



文化庁 (令和7年1月1日現在)

■人口百万人当たりの登録博物館数

【図109】



「社会教育調査」 文部科学省 (令和3年10月1日現在)

「人口推計」 総務省統計局 (令和3年10月1日現在)

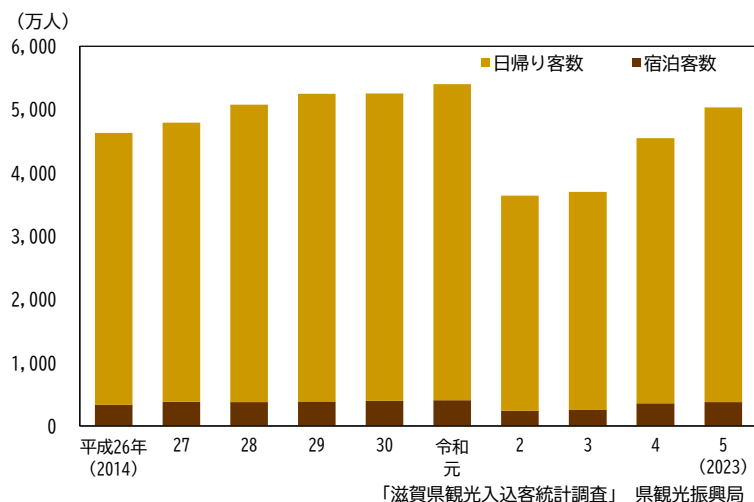
滋賀県内に所在する国宝は56件で、彦根城天守、延暦寺根本中堂、金剛輪寺本堂、西明寺本堂、常楽寺本堂、都久夫須麻神社本殿などがそれにあたる。【図106】

琵琶湖などで獲れる淡水魚を使って乳酸発酵させた「なれずし」を作る技が「近江のなれずし製造技術」として国の登録無形民俗文化財に登録されている。【図106】

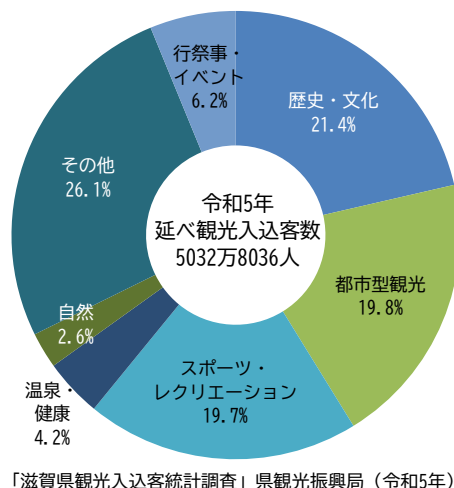
県指定の有形民俗文化財には「長浜曳山祭の山車」や「朽木の木地屋用具と製品」「八日市の柄屋用具及び製品」「下笠のサンヤレ踊り衣装」などがある。【図107】

■観光入込客数

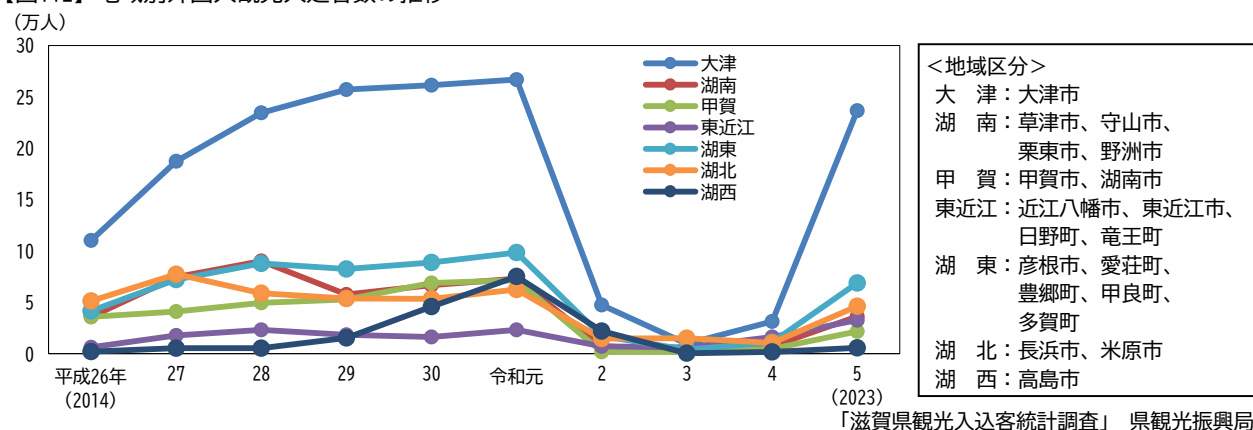
【図110】観光入込客数の推移



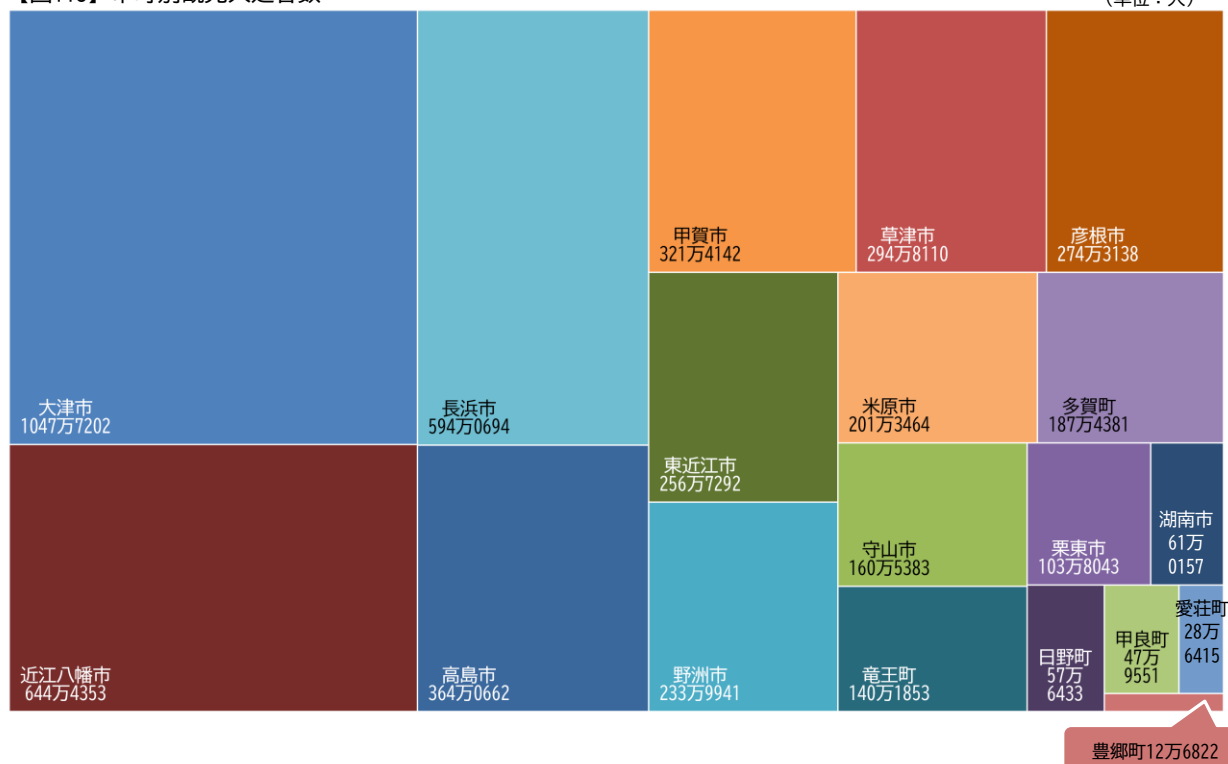
【図111】観光目的別入込客数



【図112】地域別外国人観光入込客数の推移



【図113】市町別観光入込客数



令和5年の観光入込客数ベスト5は、1位「ラ・コリーナ近江八幡」409万2,330人、
 2位「多賀大社」180万4,127人、3位「黒壁ガラス館」170万1,489人、
 4位「めんたいパークびわ湖」104万5,902人、5位「道の駅 妹子の郷」83万3,000人。【図110】